

- 三菱マテリアルグループは、目指す姿を「人と社会と地球のために、循環をデザインし、持続可能な社会を実現する」とし、脱炭素化に貢献する素材・製品の製造、非鉄金属資源リサイクル、地熱発電等の再生可能エネルギーの開発・利用促進、CO2回収・有効利用に関する技術開発、保有する山林の保全活動等に取り組みます。
- これにより、GHG排出量の削減とともに持続的な成長を図り、経済的価値と社会的価値の両立による企業価値向上を目指します。

1. 事業適応計画の実施期間

2024年1月～2034年3月

2. 環境への負荷の低減に関する目標

2045年のカーボンニュートラル実現に向け、Scope1および2におけるGHGを着実に削減し、2030年度には2020年度対比45%削減、計画終了時点では2030年度と同等以上の削減を目指す。

3. 生産性向上目標・新需要開拓目標

修正ROAを2%以上向上させることを目標とする。

4. 支援措置

金融支援（利子補給）

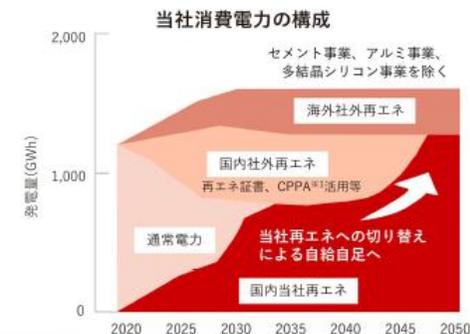
5. 認証を受けた外部評価機関

株式会社日本格付研究所

<取組の内容のイメージ>

	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
再エネ電力自給率		23%	25%	▲ 66%	再エネ電力への切替による自給自足へ		▲ 100%
再エネ事業投資額（億円）		300（2023年度から2030年度）					
再エネ事業投資効果時期							
再エネ電力調達費（億円） （電力費用への追加分）		4	12				

- 2050年度の当社消費電力に匹敵する発電量を目指して、地熱発電開発体制の構築と事業拡大を加速、風力を中心に新規再エネ発電への展開
- 2035年度に実質的な電力の再エネ化100%達成、2050年度に当社消費電力に匹敵する再エネ発電量を実現して実質的な再エネ電力自給率100%へ



※1 CPPA (Corporate Power Purchase Agreement)